

Energy efficiency NEWS FLASH

(作成: SEAJ エネルギー効率利用専門委員会 独自の見解を含んでおり、内容を保証するものではありません。参考情報としてご利用下さい)

1) 件名

空調機の自動間引運転装置による省エネについて

2) 内容

□省エネ機器の情報交換

エアコン、チラーなどの電気使用量の90%が圧縮機の稼働によるもので、その圧縮機の稼働状況を電流の計測をしながら常時監視し圧縮機を傷めないように最適なタイミングで30分に1回、4分30秒間制御し、送風状態にすることで確実に省エネを図る。この15%の制御設定で平均気温0.2度程度の室内温度上昇が生じるが、「暑い」と不快を感じる前に再び冷気が吹き出すので、不満の声を聞くことなく省エネが実現できる。

3) SEAJ コメント

空調機自身やその設置状況にもよるが、大規模な機器更新や、改造をしなくても、ある程度の省エネを行う事が可能な場合も多々あると思われる。今回情報共有した機器については、省エネにより、生活環境に不快感を与えず、機器にも無理のかからない方法である事も重要な導入条件であると思う。

ただし、設備管理部門、設備管理会社の責任回避のため、導入について否定的である現状もあり、これを打開する良い方法や、考え方を浸透させる必要がある。これについて、他の同様な案件とともに検討するひとつがある。

4) 添付情報・資料

特に無し

5) 関連情報

特に無し

6) その他

特に無し

—以上—